地区別計画　八千代地区

（１）八千代地区の概要

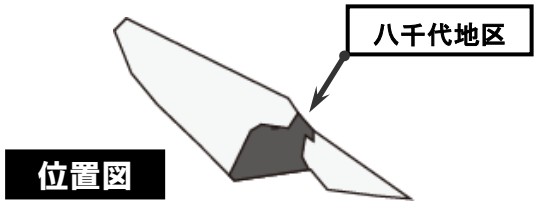
地区のあらまし

八千代地区は、町域のやや東部に位置し、豊かな自然に包まれています。

大正 15 年の入植から開拓がはじまり、昭和 32 年には畑中農場が発足して、畑作と酪農の混合経営が進められ、現在でも酪農と畑作が地域の農業の中心となっています。

また、昭和 55 年にはひがしかぐら森林公園が開設され、憩いの場として多くの人が訪れています。

地区の人口は町内では最も少なく、地域コミュニティの結びつきが強い地域です。



位置図

主な公共・公益的施設

◇公民館

・八千代地区公民館

◇教育・文化・スポーツ施設

・八千代地区公民館グラウンド

◇交流・健康施設

・ひがしかぐら森林公園

・健康回復センター（森のゆ東神楽）

道路・公共交通

◇道路

・道道旭川旭岳温泉線

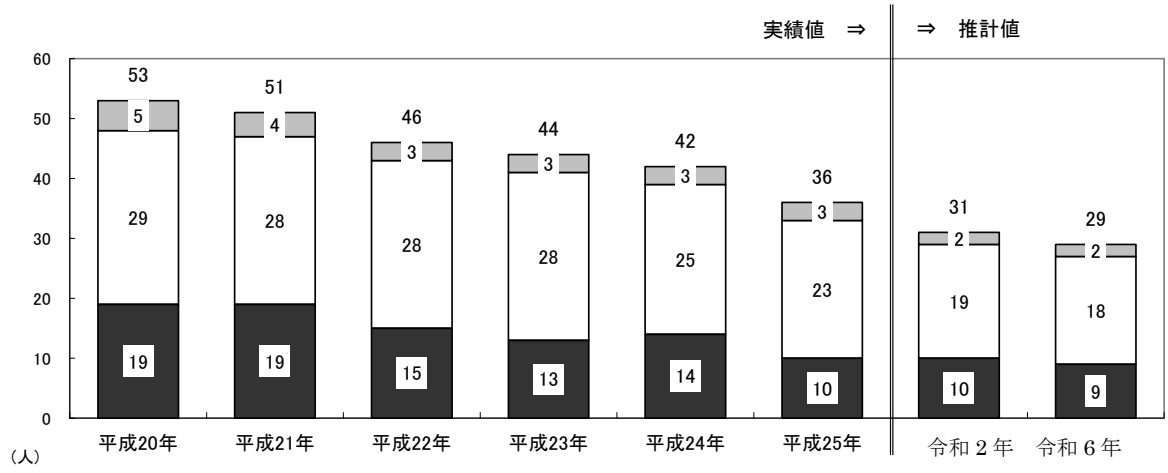
◇町営バス

・稲荷・八千代線

河川

・忠別川

・八千代川



人口の推移と将来予測

（２）八千代地区の魅力

八千代地区の代表的な魅力は以下のとおりです。

１. 豊かな自然

豊かな自然とおおらかな環境のある地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

イベントとしてフットパス（散策）などを開催／のどか／自然が多く空気がきれい／なにもないのがよい所／騒音が気にならない　等

２. 酪農や畑作などの農業

酪農や畑作などの農業がさかんな地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

八千代地区からの発信。直売所など／美味しい野菜・牛乳が生産されている／酪農、畑作によるのどかな雰囲気／広大な農地をいかした、農業をしている／八千代の農業の一部を担っている養蜂農園がある／作付け、収穫といった農業体験により喜びや感動を味わうことができ、教育面からも大きな効果が得られる　等

３. 花や農村らしい風景を楽しめる景観スポット

桜などの花、放牧や麦畑など農村らしい風景を楽しめる景観スポットがあります。

みんなで見つけた地区の魅力

桜が綺麗／麦畑の風景／牛の放牧をしている風景／星空が綺麗な夜景　等

４. 住民のつながりの強い地域のコミュニティ

住民同士のつながりの強い地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

八千代地区独自の他地区との交流（昔、芋掘り等体験を行っていた等）／町内の集会とかイベント事にみんなが協力的に参加する／皆、顔見知りで地域住民の繋がりが強い／少人数で決め事を決めやすい　等

５. ひがしかぐら森林公園

温泉施設やキャンプ場があり町外からの観光客も多い地区です。

みんなで見つけた地区の魅力

花見の頃に人が来る／温泉施設・キャンプ場がある／宿泊施設があり、町外からも観光客が来る／花火を見ることができる　等

（３）八千代地区の課題

八千代地区の主な課題は以下のとおりです。

１. 生活環境の向上

身近な買い物や情報基盤、交通の便など生活環境の向上が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

外灯が少ないので夜淋しい／道路環境の整備／看板があるにも関わらず、ゴミを捨てていく人がいる／空き家対策／動物を捨てていく／予約して乗る乗合タクシーのようなものがあったらよい／交通が不便（買い物や病院）／近くに商業施設がない／携帯電話の不感地帯がある／花みどり有効活用／既存の看板の再利用／桜やそば屋への看板の設置／Ａコープの支店がなくなった（買い物弱者が生まれている）／廃車庫が道路に傾いてきている　等

２. 人口減少・少子高齢化の進行による地域コミュニティの維持

人口の減少とともに少子高齢化が進んでいるため地域コミュニティの維持が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

人口が減少している／高齢化が進んでいる／世帯が少なく、公民館活動に限界がある／子どもの減少／他地区との交流不足／居住する所がない　等

３. 有害鳥獣対策

有害鳥獣対策が課題となっています。

みんなで話した地区の課題

動物による作物被害（鹿、カラス）／熊が出没する／動物が増えている／アライグマやタヌキなど衛生面での心配がある　等

４. 水害対策

豪雨時の水害を防ぐことが課題となっています。

みんなで話した地区の課題

大雨の時に畑や道路が流される／川の合流部の端に流木が溜まる／豪雨時の避難場所の位置が安全でない　等

八千代地区公民館
不法投棄
ひがしかぐら森林公園
豪雨時の道路の安全確保
八千代地区全図
八千代地区の代表的な魅力
1. 豊かな自然
2. 酪農や畑作などの農業
3. 花や農村らしい風景を楽しめる景観スポット
4. 住民のつながりの強い地域のコミュニティ
5. ひがしかぐら森林公園
八千代地区の主な課題
1. 生活環境の向上
2. 人口減少・少子高齢化の進行による地域コミュニティの維持
3. 有害鳥獣対策
4. 水害対策
凡　例

（４）八千代地区の目標

八千代地区の目標と目標実現に向けた取り組みは以下のとおりです。【 重 点 】とある項目は重点的・優先的に取り組む項目です。

■目標１　農業･自然環境を生かした活力ある地区をつくる

目標実現のための取り組み

取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
⑴農業の振興	①直売所など八千代地区の生産物のＰＲイベントを開催します。【 重 点 】	協働
⑵景観スポットのＰＲ	①景観スポットの情報発信やＰＲを正しい形で発信できるように取り組みます。	協働

■目標２　住みやすい地区をつくる

目標実現のための取り組み

取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
⑴生活環境の向上	①街灯の増設を図ります。	協働
	②不法投棄対策に取り組みます。	協働
	③身近な移動手段の確保や冬道の安全確保を図ります。	協働
	④携帯電話、防災行政無線の電波の受信状況を改善します。	行政

■目標３　安全に暮らせる地区をつくる

目標実現のための取り組み

取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1)災害に強い地区づくり	①災害対策の強化に取り組みます。	協働
(2)有害鳥獣対策の強化	②動物による作物や人的被害の防止に取り組みます。**【 重 点 】**	協働

■目標４　他地区との交流の活発な地区をつくる

目標実現のための取り組み

取り組み方針	取り組み内容	取り組みのあり方
(1)公民館活動の活性化	①農業体験など八千代地区の自然環境を活用して他地区との交流を推進します。	協働
	②子どもたちを中心とした活発な公民館活動を検討します。**【 重 点 】**	住民
	③健康教室を実施します。追加	住民

資料

（1）策定経緯

平成 25 年	
12 月 18 日	■第１回地区別まちづくり会議 時間：18:30～20:50 場所：八千代地区公民館 参加者：18 名（職員 9 名、委員 9 名） ■内容 ・情報地図の作成 ・地区の魅力と課題の検討
平成 26 年	
1 月 20 日	■第２回地区別まちづくり会議 時間：18:30～21:05 場所：八千代地区公民館 参加者：18 名（職員 9 名、委員 9 名） ■内容 ・魅力と課題の整理
2 月 17 日	■第３回地区別まちづくり会議 時間：18:30～20:50 場所：八千代地区公民館 参加者：17 名（職員 9 名、委員 8 名） ■内容 ・目標、取り組み内容の検討
3 月 17 日	■第４回地区別まちづくり会議 時間：18:50～21:00 場所：八千代地区公民館 参加者：17 名（職員 9 名、委員 8 名） ■内容 ・目標、取り組み内容の検討 ・役割分担の検討 ・地区計画全体の報告

（２）更新経緯

平成 30 年	
２月８日	■第１回地区別まちづくり会議 時間：10:00～12:30 場所：八千代地区公民館 参加者：15 名（職員 9 名、委員 6 名） ■内容 ・現状の課題確認、進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討
２月 23 日	■第２回地区別まちづくり会議 時間：10:00～12:00 場所：八千代地区公民館 参加者：13 名（職員 8 名、委員 5 名） ■内容 ・進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討

令和 3 年	
12 月 20 日	■第１回地区別まちづくり会議 時間：13:30～15:35 場所：八千代地区交流センター 参加者：18 名（職員 10 名、委員 8 名） ■内容 ・現状の課題確認、進捗状況の確認、目標・取組内容・役割分担の検討
令和 4 年	
1 月 18 日	■第２回地区別まちづくり会議 時間：13:30～14:20 場所：八千代地区交流センター 参加者：16 名（職員 9 名、委員 7 名） ■内容 ・目標・取組内容・役割分担の決定

（3）地区別まちづくりに向けた意見・提言

よりよい地区づくりを進めるため、地区別まちづくり計画で定めた目標の実現に向け、目標ごとの取り組み方針に基づき、今後、具体的な取り組みを検討・実行していく必要があります。

こうした目標や取り組み方針、取り組みのあり方を定めるための検討を進める中で、具体的な取り組みを実行する上で重要な意見・提言が出されています。そうした意見・提言をまとめると以下のとおりとなります。

○計画策定時

1．取り組み方針･取り組み内容に関する意見･提言

■人口減少への対応

本地区における最大の課題は人口減少であり、課題として出されていた「身近な移動手段の確保」が解決されることにより、高齢者などの交通手段が確保され、今までは自力での移動手段が無いため、やむを得なく八千代地区から移住されていた方々の人口流出が解消され、このことが「空き家対策」の解決にもつながるなど、1 つの課題の解決で様々な課題解決につながるのではないか。

■目標１　農業・自然環境を生かしたで活力ある地区をつくる

(3)景観スポットのＰＲ

①景観スポットの情報発信やＰＲに取り組みます。

・「(2)豊かな自然環境の活用」の取り組みと連携してはどうか。

■目標２　住みやすい地区をつくる

(1)生活環境の向上

④身近な移動手段の確保を図ります。

・乗合の予約タクシーの導入を検討しては。

③空き家対策に取り組みます。

・空き家にしないためにお年寄りの家の空いた部屋に若い人を呼んでシェアハウスしたらよいのでは。

⑤情報通信手段の範囲を拡充します。

・お年寄りがタクシーの予約や買い物が簡単にでき、かつ簡単に扱えるものを提供しては。
・携帯等の通信機器がライフラインである。
・防災無線だと一方的である。
・通信事業者と町で防災協定を結ぶ（災害との関連付け）
・場所によっては電波が悪い。

■目標４　他地区との交流の活発な地区をつくる

(1)公民館活動の活性化

②人口減少に対応した活発な公民館活動を検討します。

・直売所や景観スポットをつくることが起爆剤になり公民館活動もよくなるのでは。

2. 取り組みのあり方･協働に向けた意見･提言

■目標１　農業・自然環境を生かしたで活力ある地区をつくる

(1)農業の振興

①直売所など八千代地区の生産物のＰＲを図ります。

→住民は仕入れや販売を行い、行政は直売所のＰＲ、チラシ作成など広報・告知、立ち上げに向けたアドバイス、場所の提供、販売員の支援を行う。

(2)豊かな自然環境の活用

①子育て支援やリラクゼーション等の実施場所の提供を図ります。

→行政は場所や森林浴するためのベンチ等の設備を設置、子育て支援などの実施全般を行い、住民は具体的なイベントの企画・実施、設置したベンチ等の設備の維持・管理を行う。

(3)景観スポットのＰＲ

①景観スポットの情報発信やＰＲに取り組みます。

→住民は情報の提供、地図づくり、マナーの呼びかけ、スポットの情報提供、看板の設置を行い、行政は情報発信、ＰＲ、マナーの啓発を行う。

■目標２　住みやすい地区をつくる

(1)生活環境の向上

②不法投棄対策に取り組みます。

→住民は情報提供、看板設置、環境整備、ごみ拾い分別処理を行い、行政は不法投棄禁止の看板等の設置、取締り、罰則、大型のごみ処理、ごみの撤去、パトロールを実施する。

③空き家対策に取り組みます。

→住民は情報提供を行い、行政は景観の悪いところや危険な空き家の撤去・取り壊し、町外からの問い合わせに関して移住の案内、情報提供などを行う。

■目標３　安全に暮らせる地区をつくる

(1)災害に強い地区づくり

①災害対策の強化に取り組みます。

→行政は危険個所の修復や道路の管理、避難所の確保を行い、災害発生場所の情報提供、見回りなどは住民でやるべきでは。

(2)有害鳥獣対策の強化

②動物による作物や人的被害の防止に取り組みます。

→住民は捕獲、情報提供、実施、具体策の検討を行い、行政は注意喚起看板の設置、罠の提供、補助金などの支援を行う。

■目標４　他地区との交流の活発な地区をつくる

(1)公民館活動の活性化

①農業体験など他地区との交流を推進します。

→住民は場所の提供、イベントの企画、公民館同士の連携を行い、行政は他地区へのＰＲ、周知、公民館とのパイプ役を行う。

②人口減少に対応した活発な公民館活動を検討します。

→住民は多様な公民館活動を継続して行い、行政は人手の支援、精神的な支え、活動に必要なバス運行などの提供を行う。

○平成２９年度計画更新時

１．取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標１　農業・自然環境を生かしたで活力ある地区をつくる
⑴農業の振興
①直売所など八千代地区の生産物のＰＲを図ります。
・限られた人数で大規模農業を展開しているので、直売所の開設は難しい。
・公民館をリフォームする際には、軒先で野菜を売れるような場所を作ってみてはどうか。
・公民館リフォームを機に、毎日ではなく、期間限定とか、一年に一度収穫祭のようなことをして、野菜を売ることもできるかもしれない。

⑵豊かな自然環境の活用
①子育て支援やリラクゼーション等の実施場所の提供を図ります。
・行政との協働により、町内の小学生を対象とした、様々な体験活動の場を提供できた。
・「豊かな自然環境の活用」は、目標 4 整理番号 11 の「農業体験など他地区との交流を推進します」の中に含められるのではないか。

⑶景観スポットのＰＲ
①景観スポットの情報発信やＰＲに取り組みます。
・H25 策定時「→住民は情報の提供、地図づくり、マナーの呼びかけ、スポットの情報提供、看板の設置を行い、行政は情報発信、ＰＲ、マナーの啓発を行う。」　マナーの周知の難しさを感じる。

■目標２　住みやすい地区をつくる
⑴生活環境の向上
②不法投棄対策に取り組みます。
・以前より、不法投棄はかなり減ったように感じる。
・継続して取り組んでいかないと、悪い状態に戻ってしまう。

④身近な移動手段の確保を図ります。
・デマンドバスの試験運用の結果、現時点では必要ないということになったが、10 年先、２０年先が不安。
・身近な移動手段の確保に関わり、冬の除雪対策に協力が必要である。
・高齢者世帯の玄関先の除雪は地域住民が協力できる。

■目標３　安全に暮らせる地区をつくる
⑴災害に強い地区づくり
①災害対策の強化に取り組みます。
・平成２８年の大雨で、床下浸水をした家が数件あり、その際に水道が使えなくなったりした。
・計画を立てた２年後に大雨による被害を受けている。計画の意味がないのでは。
・災害時は、どのタイミングでどこへ連絡してよいのかがわからない。災害時の連絡フローが必要では。
・災害に強い安心・安全な公民館（リフォーム時に）
・携帯電話の不通エリアの解消。人命にかかわる。
・地域に土のうなどを用意してもらうことにより、住民での初期対応が可能になるのでは。
・ここ数年、道路パトロールの様子がなく、流れた砂利の処理も地域住民で行っている現状にある。

⑵有害鳥獣対策の強化
②動物による作物や人的被害の防止に取り組みます。
・害獣駆除用の檻を借り、住民がアライグマを 16 頭捕獲することができた。

・生き物相手なので、解決＝終了とはならない。今後も継続が必要。

■目標４　他地区との交流の活発な地区をつくる
⑴公民館活動の活性化
①農業体験など他地区との交流を推進します。
・八千代地区で、泊りがけで他地区の子を受け入れる農業体験などを行った。
・行政の協力があれば、農業体験の場などを提供し郷里に愛着を持ってもらえるような子育て支援する場を提供することに協力したい。

②人口減少に対応した活発な公民館活動を検討します。
・夏場の農繁期を避けて、冬場に公民館活動を集中させることにより地域の人が参加しやすい、公民館活動を心がけている。
・年齢構成の変化もあるが、地域活動を継続していきたい。ただ、人が減ってしまってはどうしようもないので、そこは心配している。

2. 取り組みのあり方・協働に向けた意見・提言

■目標２　住みやすい地区をつくる
⑴生活環境の向上
①街灯の整備を図ります。
→街路灯のチェックは、行政が定期的に点検確認を行っているのか？発見時に地区住民が行政にお知らせすることが出来る。「行政」から「協働」とする。

④身近な移動手段の確保や冬道の安全確保を図ります。
→冬道の安全確保について　地域住民で高齢者を支えている。冬の除雪もその一つで重機を持っている人が、出来る範囲で助けている。それを仕事にしてしまうと負担になりかねない。高齢者世帯の玄関先の除雪は地域住民が協力できる。「行政」から「協働」とする。

■目標３　安全に暮らせる地区をつくる
⑴災害に強い地区づくり
①災害対策の強化に取り組みます。
→住民サイドで道に掛け合うことは難しい。行政に引続き要望をお願いしたい。
→地区公民館に土のうを行政で準備してほしい。増水時に地域で初動が行える。「行政」から「協働」とする。

■目標４　他地区との交流の活発な地区をつくる
⑴公民館活動の活性化
①農業体験など八千代地区の自然環境を活用して他地区との交流を推進します。
→以前、公民館長会議の流れで東聖地区の公民館事業の受け入れをした。その時は親子の受け入れをしてじゃがいもやとうきびを茹でて、喜んでもらえた。
→行政の協力があれば、農業体験の場などを提供し郷里に愛着を持ってもらえるような子育て支援する場を提供することに協力したい。
→行政と協働して八千代地区ならではの農業体験できる場の提供ならできる。「行政」から「協働」とする。

※他にもたくさんの貴重なご意見をいただきましたが、一部割愛させていただきます。

○令和３年度計画更新時

１．取り組み方針・取り組み内容に関する意見・提言

■目標１　農業・自然環境を生かした活力ある地区をつくる
(1) 農業の振興
①直売所など八千代地区の生産物のＰＲを図ります。
→（変更）①直売所など八千代地区の生産物のＰＲイベントを開催します。【重点】[協働]
・公民館の新設により、直売所の環境は整った。
・公民館でイベントができたらいい。
・農業の振興と直売所のＰＲは別物。

(2) 景観スポットのＰＲ
①景観スポットの情報発信やＰＲを正しい形で発信できるよう取り組みます。[協働]
・八千代の風景はここ！というスポットをＰＲすれば良いのでは？
・桜の時期は人が多い。
・ＰＲが難しい。人が来てくれるのはいいけど、仕事の邪魔になる可能性がある。
・仕事場なので、パンフレットに載せて人がたくさん来られても困る。
・掲載して良い場所とＮＧな場所との境界線をはっきりさせる。
・安全面において行政の協力を得ながら、行っていきたい。
・後継者の有無によりＰＲ等の状況が違う。

■目標２　住みやすい地区をつくる
(1) 生活環境の向上
①街灯の整備を図ります。
→（変更）①街灯の増設を図ります。[協働]
・街灯はＬＥＤにしてもらえたが、稲荷～八千代間の街灯の間隔距離が長く暗い。
・子どもが部活動などで帰りが遅いと暗く危ない。
・ＬＥＤはありがたいけど本数を増やしてほしい。
・概ねＬＥＤ化された。八千代２区は進んでいないが。

②不法投棄対策に取り組みます。[協働]
・不法投棄については捨てる人のモラルの問題であり、八千代地区で改善するというのは難しい。
・不法投棄はあるけど役場が処理してくれている。
・婦人会で年２回、ゴミ拾いを実施。行政も頑張ってくれていると思う。
・行政で不法投棄の注意喚起看板を立ててくれた。
・不法投棄については、目につくところにお金をかけずに看板を増やして設置できたらいいと思う。
・山菜採りの人のお弁当ゴミや、キャンプで出たゴミを捨てていく。

③空き家対策に取り組みます。
→（削除）
・人が住めないような空き家は壊して更地になっており、人が住めるところはすでに埋まっている。
・空き家対策は必要ないが、これからも必要になってくる。

③身近な移動手段の確保や冬道の安全確保を図ります。[協働]
・除雪はきれいにされている（個人の機械で対応している）。
・高齢者の家の間口の除雪をしてほしい。
・人がいなかったらすぐに出発するのではなく、バス停で停車していてほしい。
・スクールバスの路線の変更はできないのだろうか、冬だけでももう少し中に入ってほしい。
・小学１年生がスクールバスの乗車場まで約５００ｍ歩いて行く。暴走車・雪・熊などで心配。も

う少し自宅近くまで来て欲しい。
・木枝が道路まで伸び、トラクター等にぶつかることもある。役場では私有地なので手を出せないと言われた。
・山菜取りの人が道路の真ん中に駐車し通行できない。

⑤情報通信手段の範囲を拡充します。
→（変更）④携帯電話、防災行政無線の電波の受信状況を改善します。[行政]
・携帯電話が家の中や公民館内でつながらなく、外に出ても電波があるところ無いところがある。
・避難所なのにも関わらず、外部へ連絡が取れないことに対して不安がある。
・携帯電話が使えない。早く何とかして欲しい。
・防災無線も途切れることがある

■目標３　安全に暮らせる地区をつくる
(1) 災害に強い地域づくり
①災害対策の強化に取り組みます。[協働]
・水害については河川改修を待つしかない。今すぐ改善できるというものではないと理解している。
・以前の公民館は低い土地にあったので、避難所としての役目を果たしていなかったが、新しい公民館は土盛りをして高さを上げているので、避難所として活用できる。
・公民館が新しくなり避難所が出来たことはよかった。

(2) 有害鳥獣対策の強化
①動物による作物や人的被害の防止に取り組みます。【重点】[協働]
・アライグマ、カラス、シカはやはり多いが、猟友会、行政、あるいは個人で対処できている。
・クマが出ると食害に困るというよりは、襲われるかもしれないという恐怖心から仕事が捗らないことがある（山の中に入りたくないなど）。
・昔いなかったところにもカラスが来る。増えており、ここ２年くらいですごくなった印象。
・農作物の被害は深刻。
・全国での有害鳥獣対策の成功例などを教えて欲しい。

■目標４　他地区との交流の活発な地区をつくる
(1) 公民館活動の活性化
①農業体験など八千代地区の自然環境を活用して他地区との交流を推進します。[協働]
・他地区との交流ができていない。
・他地区との交流を八千代公民館から発信するのが難しい。例えば、町や東聖地区公民館などで子どもの農業体験をしたいと言われれば、受け入れることは可能である。向こうでやりたいと思っていることに八千代が応えるというやり方ができればと思っている。
・例えば、夏休み時期に子どもたちにスイートコーンの収穫体験をさせてあげたいんだと早い段階で相談してくれれば、その時期に合わせた作付けも考えることができる。

②人口減少に対応した活発な公民館活動を検討します
→（変更）②子ども達を中心とした活発な公民館活動を検討します。【重点】[住民]
・若い人が増え、子どもも増えている。世代の交代が進んでおり、地区でいえば高齢化は進んでいない。
・子供が増えてとても良い状態だと感じる。自然死もあり増加はしていないが、若返った感じがする。
・世代間交流を深めるためにも、子ども達を中心とした交流を深めたい。
・公民館活動は冬中心の活動で、少人数の活動をしている。
・子どもが１日遊べるような社会教育の場（サイパル）に連れていくなど、公民館活動は住民で頑

張っていきたい

（追加）③健康教室を実施します。[住民]
・コロナ禍より、体力づくりができていない。

※他にもたくさんの貴重なご意見をいただきましたが、一部割愛させていただきます。